

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記のを領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

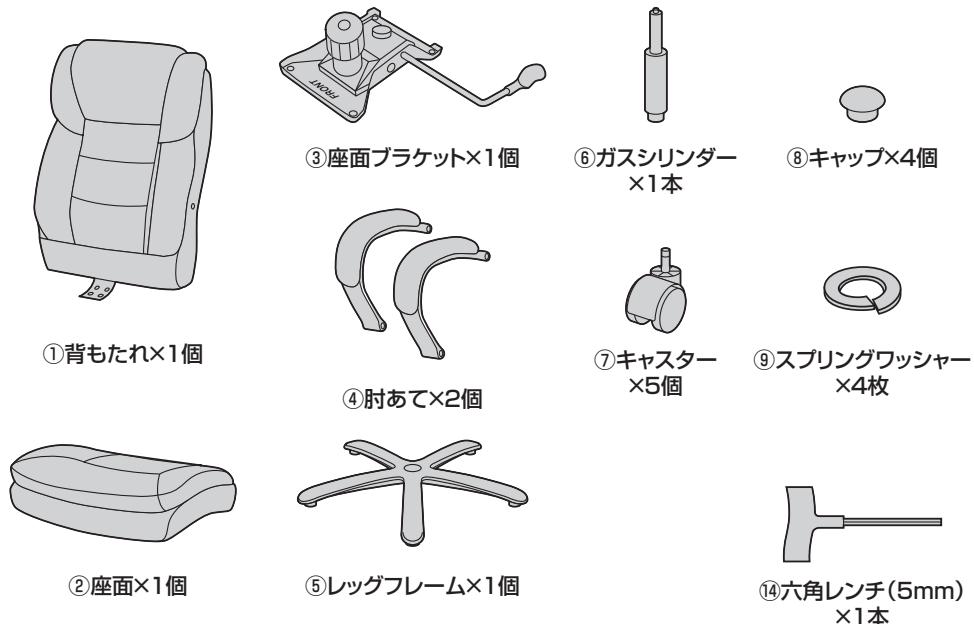
★用意していただくもの……

手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

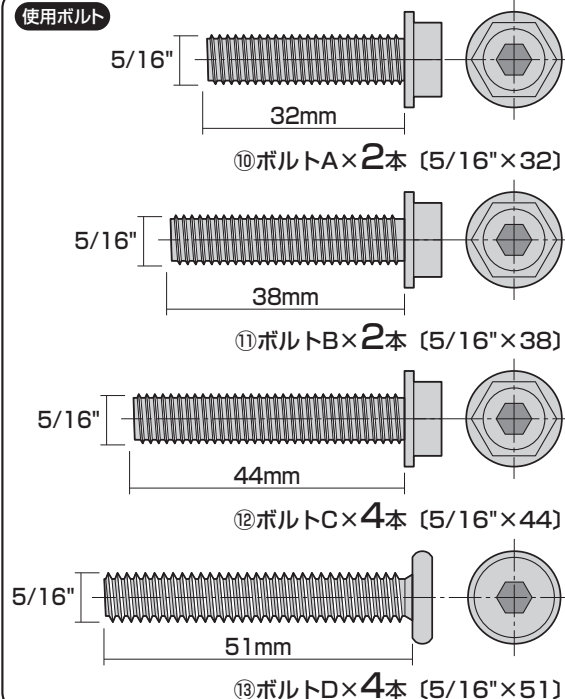


組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCL029など)と
下記の部品番号(①~⑭)と部品名(キャップなど)をお知らせください。



使用ボルト



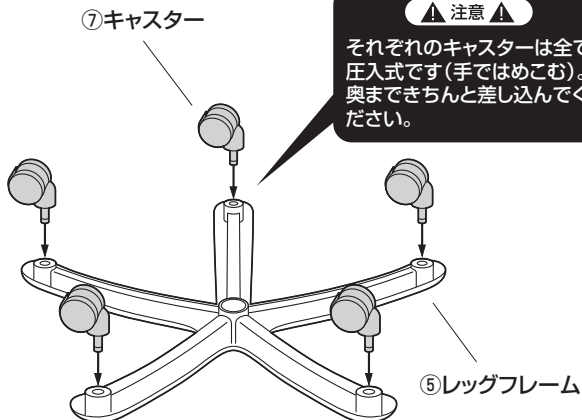
チェアの品質表示

構造部材：座部・背もたれ部/合板 脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：PUレザー
クッション材：ウレタンフォーム

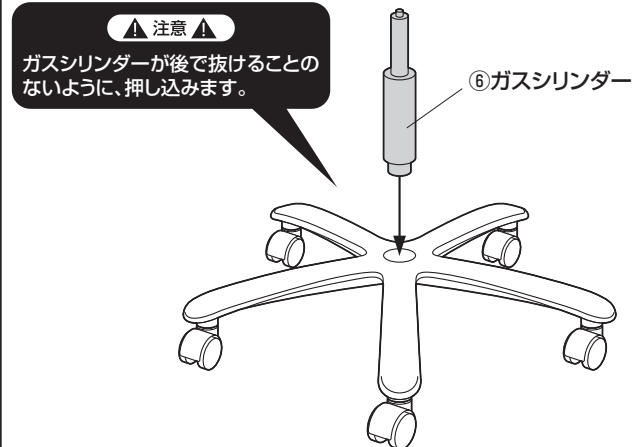
⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかります。チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

1 レッグフレームにキャスターを取付けます。



2 レッグフレームをひっくり返し、 ガスシリンダーを取付けます。

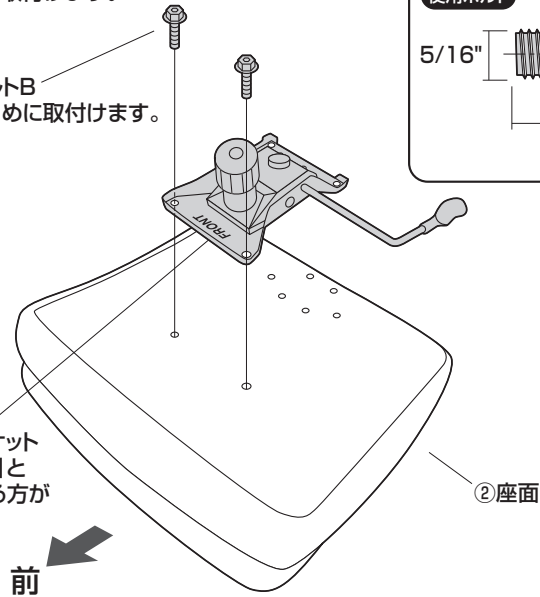


3 座面に座面ブラケットを取付けます。

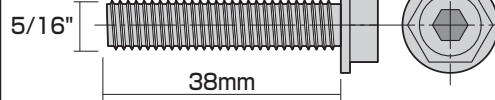
①ボルトBで取付けます。

①ボルトB
※ゆるめに取付けます。

③座面ブラケット
※「FRONT」と
書いてある方が
前です。

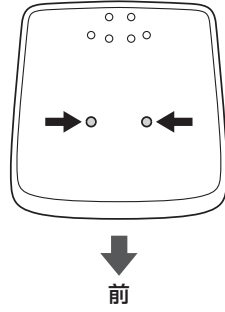


使用ボルト

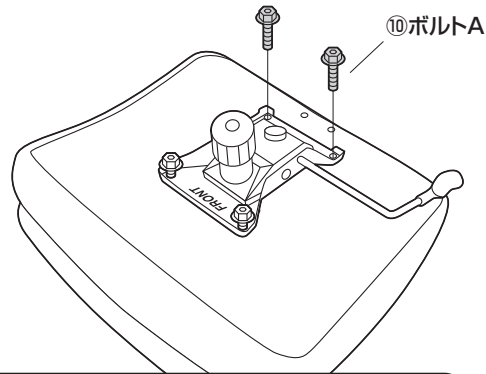


①ボルトB (5/16"×38)

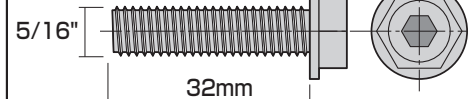
下から見た図
下図の穴を使用します。



②ボルトAを取付けます。

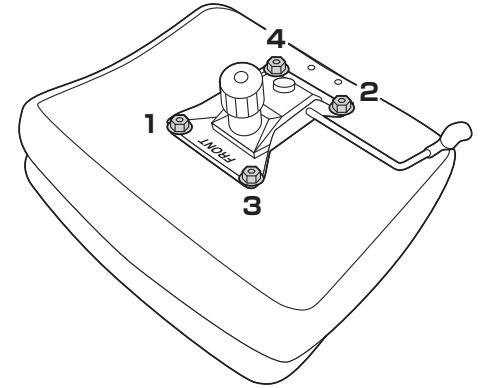


使用ボルト



⑩ボルトA (5/16"×32)

③ボルトを均等に少しずつ締め込み、1、2、3、4の順にきつく締め付けて、固定します。



4 背もたれに座面を取付けます。

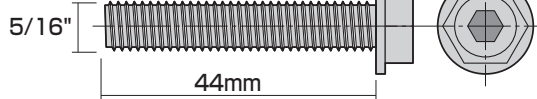
②座面



⑫ボルトC

①背もたれ

使用ボルト



⑫ボルトC (5/16"×44)

5 肘当てを取付けます。

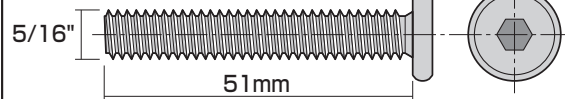
①肘当てを取付けます。

⑬ボルトD

⑨スプリング
ワッシャー

④肘あて

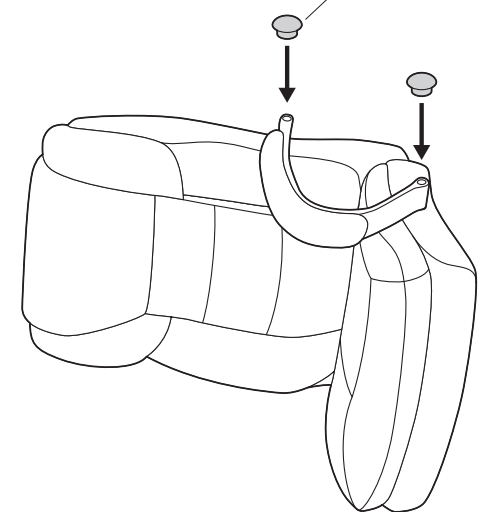
使用ボルト



⑬ボルトD (5/16"×51)

②キャップを取付けます。

⑧キャップ



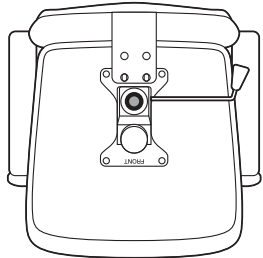
※反対側も同様に取付けます。

6 ガスシリンダーに座面を差し込んで、完成です。

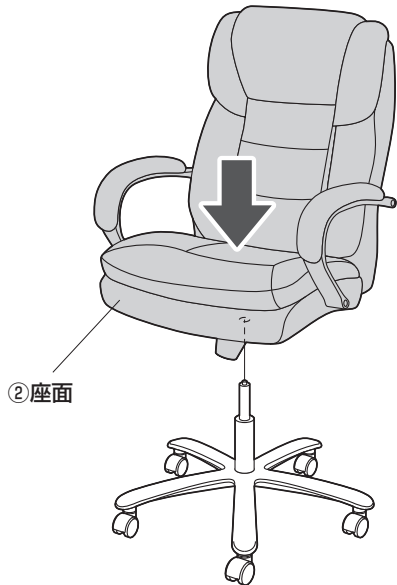
▲注意▲

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

下から見た図
座面の下図の穴に差し込みます。

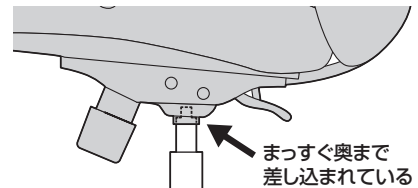
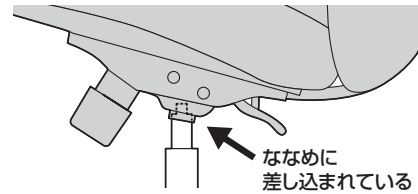


前



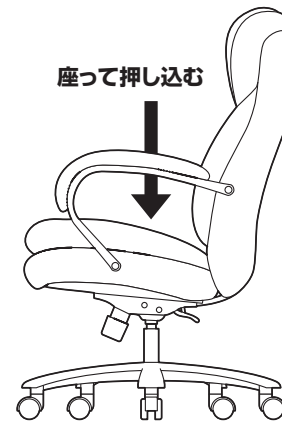
▲注意▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。
座面ブラケットがななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

座って押し込む

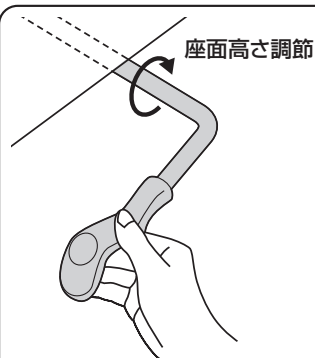


※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方では、ガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
※固定が不十分だと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

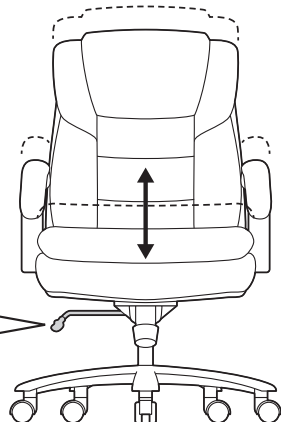
高さの調節方法

▲注意▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。

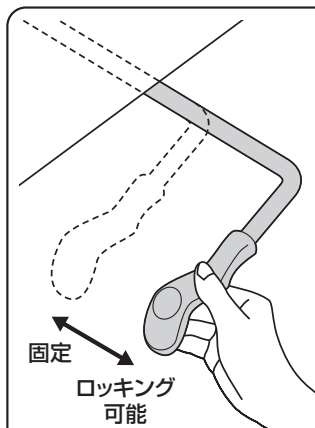


レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

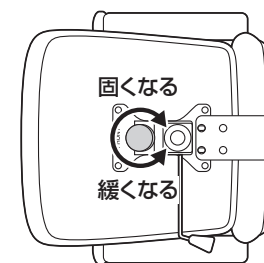


ロックングの使用法

レバーが差し込まれた状態ではロックングが固定されています。
レバーを引き出すと、ロックングできます。
※任意の角度での固定はできません。



下から見た図



前

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。

